

3R (リデュース Reduce ごみを出さない
リユース Reuse 繰り返し使う
リサイクル Recycle 再び資源にする) を生活の中に

長岡市ごみ情報誌

Vol.23

平成24年3月

ながおかの

ご家族みなさんで
お読みください

この情報誌は、長岡市のごみの現状や、ごみの減量とリサイクルを進めるための取り組みを紹介していきます。

ごみ改革

長岡の環境キャラクター
ペギーちゃん



「地球に優しい!!」
が合言葉

三島地域「クリーン諏訪」の集団資源回収



▲ 朝、メンバーが集まってミーティング。「雪が降っていますが、安全運転でいきましょう」

「クリーン諏訪」は、三島地域の吉崎地区で資源回収を行う団体です。ごみの有料化を前に少しでもごみを減らしリサイクルを進めたいと、平成15年4月から活動を始めました。

メンバーは8人で、ほぼ毎月1回、新聞、雑誌・チラシ、段ボール、アルミ缶を集めています。回収日の1週間前に吉崎地区の各戸にチラシを入れ、協力を呼びかけます。地域の人たちは、メンバーや「協力会員」から集積場所として提供された自宅の車庫や庭先へ資源物を持ってきます。

吉崎地区ではごみステーションに出す古紙類の量が減り、地域の人たちからも感謝されているそうです。

「ごみを減らすことはもちろん、仲間作りや地域でボランティア活動をしたいというのも、私たちの活動の大きな目的の一つなんです。」と代表の尾竹 憲二おたけ けんじさんは話します。

地域の皆さんに感謝され、少しでも役に立っていると実感できることが嬉しく、活動の原動力になっているといいます。

今後でもできるだけ長く続けていきたいとのこと。雪が降り、寒い中での回収作業でしたが、皆さんのきらきらした笑顔から温かい気持ちが伝わってきました。



▲ 集積場所から積み込んだ古紙類は、古紙業者まで運び、引き取ってもらいます。収益金は地域活動に還元しているとのこと。